



いよいよ総選挙「生活守れ！消費税増税ノー」の声をこぞって投票箱に 全国の会第19回総会が、国民のみなさんへ“よびかけ”

9月28日(日)に消費税をなくす全国の会の第19回総会が御茶ノ水の宝楽連会館で開催、全国から185人が参加しました。東京からは48名が参加し、杉並の奥川さん、江東の木村さん、練馬の菊池さん、台東の山田さんと千葉さん、全国常任世話人の田田さんが発言しました。
総会では、総選挙が目前に迫っていることから、総選挙では昨年の参院選以上に増税勢力に厳しい審判を下すことと熱烈な叫びが相次ぎました。
また、全国の会が発行したパンフレットの普及が8月早冊普及され、お面劇学習が全国にひろがっている様子がいきいきと交流されました。
そして、総選挙は政治を変える絶好のチャンスとして「昨年の参議院選挙で示した国民の怒りを、ひとまわり、ふたまわりも大きくして、自公政治に厳しい審判を下し、消費税増税計画を完全撤回させよう」との「国民のみなさんへのよびかけ」を採択しました全文は後編。



写真上は、9グループ10人のリレー・トーク、下段右は報告と提案をおこなう梅村早江子事務局長、左は京言葉お面劇を演ずる京都の会の方々。

選挙期間中も貼り出せる意見ポスターを全都に

8月号でお知らせした「意見ポスター」の活用計画が決まりました。主宰は消費税廃止東京各界連絡会です。
麻生首相は、消費税を3年後の2011年から毎年1割ずつ上げて、2015年には10割台にする公言しています。
近くおこなわれる総選挙で選ばれる議員がその法案を審議することになります。増税反対のポスターを全都に貼りめぐらし、増税勢力に厳しい審判をくだしましょう。
このへみにあたっての募金や注意事項などは以下のとおりです。

①賛同募金は、個人が1口200円、団体が1口1,000円以上をお願ひします。

②地域・草の根の会が募っている賛同者のお名前を「賛同者」の枠内に印刷し、賛同者お一人1枚分を地域・草の根の会へお送りします。

③賛同団体名に政党名は記入しないでください。選挙期間中は貼出しが規制されます。

④同封したポスターは、賛同者・同団体のお名前を手書きまたはワープロなどで作成した名簿を貼り付けることで、そのまま利用した募金などの諸経費をまかないません。だけです。なお、大きさは郵送の都合で縮小(A3をB4)してあります。(欄外に注記)

その場合も賛同募金を東京の会にお寄せください。各界連へ納入します。送金には同封の振込み用紙をご利用ください。

郵送料は50枚までは100円を負担いただきます。

③賛同団体名に政党名は記入しないでください。選挙期間中は貼出しが規制されます。



「NO消費税」購読料と振込手数料(負担のお願い)
全国の会発行の会報「NO消費税」は、送料を受けた全国の会では、やむを得ないもの料を含む年間購読料を1500円ですが、こと判断、購読料の引き上げも検討しましたが、購読料の5割以上を支出している現状を鑑み、購読料の振込み手数料を購読者に負担いただくという業者の方のご協力に頼んでいます。このたび、当面乗り切ることになりました。また、この数ヶ月のあいだに納入のお願い

注記：東京各界連絡会に加盟されている団体には同封していません。ご了承ください。

総選挙目前 各地で学習会や定例宣伝

突然の首相交代と総選挙必至というあわただしい動向に、各地で消費税の増税を許さない学習と宣伝が果敢にとりくまれています。



【台東】消費税をなくす台東の会と消費税廃止台東連絡会は、意見ボスターの成功をめざす学習・決起集会を開きました。



【目黒】東京土建目黒支部主婦の会は、8月31日に開いた総会で、お面をつけてパンフを読む参加者の皆さん。



【大田】消費税をなくす大田の会は、お彼岸の9月23日に池上本門寺門前で入会者を訴えました(写真)。



【杉並】杉並の会は、9月24日に京王井の頭線浜田山駅前スペース西友前で行った街頭宣伝の様子。

署名に応じた方は「(お金は)出るものばかりで、入ってくるのは少し。いまでもやりきれないのに、消費税が上がったらかなわいな」と語っていました。

東の会、東京土建目黒支部主婦の会、東京私学退職教職員会、西東京の会、蒲田民商、ネットワーク宮城の7ヶ所にのぼっています。

「区内を歩いて実感した思いをデザインした」と語りました。写真は、お面をつけてパンフを読む参加者の皆さん。

写真は、前夜から必死の練習をしてお面劇を上演したいわか劇団のみなさん。この取り組みには19名が参加、30人が参加しました。

駅東口で他の団体といっしょに増税反対の宣伝をおこないました。

【他、葛飾、板橋、足立、港、世田谷などから報告が寄せられています。紙面の都合で地域名のご紹介だけにとどめさせていただきます。ご了承ください。写真は9月24日の巣鴨駅前前で訴える田村智士さん。

国民のみなさん

消費税をなくす全国の会の第十九回総会に結集した私たちは、全国一四六万人の会員を代表して、国民のみなさんに心よりよびかけます。

新しく首相になった麻生太郎氏は、三年後から毎年一%ずつ消費税をあげて、二〇一五年には一〇%台にすると言いました。こんな首相はかつていません。

私たち国民はこの数年間、「構造改革」によって、雇用・所得がガタガタにされるなか、負担増を次々とおしつけられてきました。そこへ今、物価と燃料の高騰が激震となって襲いかかっているのです。「原油高倒産」も後を絶ちません。もう我慢も限界です。

庶民には「痛み」をおしつける一方で、大企業や大資産家は次々と減税するような、こんな冷酷で不公平な政治がこれまであったでしょうか。

こんな自民・公明政治、もう変えようではありませんか。

総選挙はその絶好のチャンスです。昨年の参議院選挙で示した国民の怒りを、ひとまわり、ふた

まわりも大きくして、自公政治に厳しい審判を下し、消費税増税計画を完全撤回させましょう。緊急に、毎日の暮らしには税金をかけないようにさせましょう。

みなさん

政府・財界は、「年金・社会保障のため消費税増税を」と言いますが、社会保障はよくなるどころか悪くなるばかりではありませんか。

消費税実施二〇年目の今年四月一日に、「希代

の国民いじめ」である後期高齢者医療制度にみんなで投票しましょう

たことは、消費税が「高齢化社会のため」であることが真つ赤なウソであったことを如実に示すのです。

また、「財源」といえば消費税と言います。年間五兆円もの軍事費や、十年間で五十九兆円もの道路建設などの税金のムダ使いにメスを入れるとともに、空前の利益をあげている大企業・大資産家に、もうけにふさわしい負担を求めれば、

麻生新首相は、「憲法九条二項を『陸海空自衛

消費税に頼らなくても財源は確保できるはずで、消費税は、所得の低い人に負担の重い「福祉破壊税」です。社会保障財源にもつともふさわしくない、廃止すべき天下の悪税です。

国民みんなが人間らしい文化的な暮らしが保障

されるためにも、今こそ日本国憲法にもとづいて、税金は、「毎日の暮らしにかけない」「所得の多い人は高く、所得の少ない人は低い割合で負担する」「勤労所得には軽度、不労所得には高い割合で課税」という民主的税制を、みんなの力で実現させよう。

みなさん

麻生発言にもとづけば、今度の総選挙で私たちを選ぶ議員が、消費税増税の可否を決めることになり、私たちの一票はよりいっそう重いものとなって

きました。

私たちをなくす全国の会第十九回総会

二〇〇八年九月二八日

CHIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中のこども みんなに
平和としあわせを
このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。
いわさきちひろ作品普及会

